



# 筑波大学麻酔科へようこそ！

Department of Anesthesiology and Critical Care Medicine  
University of Tsukuba

麻酔科は「**麻酔科診療**」「**救急・集中治療**」「**ペインクリニック・緩和医療**」を3つの柱として診療を行っています。急性期医療から慢性期医療まで仕事の幅は広く、私たちに飽きさせることはありません。

**「麻酔科」、正しくは、「周術期全身管理科」？！**  
呼吸循環管理をはじめとして幅広い能力を培い、  
状態が不安定な患者の命を守る！

実は、麻酔をかけること自体はそれほど難しくはありません。それよりも私たちが主にやっていることは、いわゆる全身管理。それも、状態がもっとも不安定な手術中の患者さんの全身管理です。手術中の患者はいつ大出血するかわからないうえ、生命維持のために必要な反射が抑制された状態です。呼吸・循環管理を中心とした全身管理に必要な知識や技能、判断力を駆使し、生命を守ること、それこそが麻酔科の仕事なのです。



学生に指導しながら

**「救急・集中治療」の分野でも活躍の場が**  
麻酔管理で養われた知識と技能を生かし、  
危機に瀕した患者を救う！

手術中にはどのような緊急事態が起こるかわかりません。大量出血も然ることながら、アナフィラキシーや狭心症などを発症し突然危険な状態に陥ることもあります。麻酔科医には、このような状況にすばやく対処するため、危機に瀕した人をいざというときに救えるような知識とテクニックを身につけることが求められています。麻酔科医が救急・集中治療の分野で活躍できるのは正にこのため、土浦協同病院では麻酔科が救急・集中治療を担っています。



ドクターカーとICU

**急性期医療とは真逆？！**  
**「ペインクリニック、緩和医療」**  
薬と注射を上手に組み合わせ、頑固な痛みに向かう！

痛みを取ることは、私たちがもっとも得意とする領域です。モルヒネやフェンタニルなどの麻薬はもちろんのこと、神経ブロックにも精通していますので、それらを組み合わせながら痛みを上手にコントロールしていきます。慢性痛は治療が難しいことが多いのですが、その分やりがいがあります。また、学問的にも非常に興味深い領域です。



腹腔神経叢ブロック

## 初期研修

上級医の指導のもと、主麻酔として実際に麻酔診療を行うことで学習していきます。最初は比較的小手術の麻酔管理から開始し、到達度とやる気に応じて徐々にレベルを上げていきます。その中で気管挿管をはじめとする基本的手技と全身管理の基本的知識を学びます。気管挿管については、私たちが持っているスキルを伝授することによって、自信がついたと言えるレベルにまで引き上げます。

毎朝の抄読会



## 後期専門研修

筑波大学は小児症例が多いことが特徴で、豊富な症例を経験することが出来ます。麻酔科のキャリアパスとしては、急性期医療から慢性期医療まで幅広い職種が選択できることが特徴です。例えば、麻酔科診療の専門性を極めるために心臓麻酔や小児麻酔などに進むことが出来ますし、救急・集中治療、ペインクリニック、緩和医療などに進むことも出来ます。その中で、私たちはそれぞれが持つ自分の将来像を見据えた研修が行えるようサポートしていきたいと考えています。

心臓麻酔



## 専門医取得

およそ5年後に日本麻酔科学会専門医を取得します。筑波大学は常に専門医試験で上位を占めており、数年前には1, 2位を独占したこともあります。さらに、それぞれの方向性に応じて、集中治療医学会専門医、救急医学会専門医、ペインクリニック学会専門医、心臓血管麻酔学会専門医を取得します。

小児麻酔



## 大学院進学(博士号取得)、留学

希望に応じて大学院進学が可能です。社会人大学院に進学して、仕事で収入を得ながら研究を進めることも出来ます。テーマは主に心筋の再還流障害、疼痛治療、脳蘇生で、疼痛に関する研究ではベクターを用いた疼痛治療や遺伝多系の解析を利用したオーダーメイドの疼痛治療の開発を目指して研究を進めています。また、海外・国内を問わず留学も奨励しており、米国でスタッフとして活躍している先生が大勢います。

硬膜外麻酔



## 関連病院

茨城県の人口10万人あたりの麻酔科医数は、全国で45番目です。そのため、麻酔科医を茨城県内の基幹病院(日立総合病院、水戸済生会病院、県立こども病院、水戸地域医療教育センター、県立中央病院、筑波メディカルセンター、筑波学園病院、筑波記念病院、土浦協同病院、龍ヶ崎済生会病院など15ヶ所)に配置し、充足をはかっています。これ以外の病院には非常勤で麻酔科医を派遣していますが、それでも不足している状況ですので、皆さんが活躍する場所は無限にあると言っても過言ではありません。